

第17期(平成28年10月1日～平成29年9月30日) 事業計画

部 門	支 援 事 業	活 動 内 容
信頼性保証部 PM:濱田小百合	監査	<p>医師主導治験(Campath臨床試験HE0402)の監査実施 参加CRO(1社)及び治験総括報告書の監査 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>医師主導治験(Campath臨床試験HE0403)の監査実施 参加CRO(1社)及び治験総括報告書の監査 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究Phoenixの監査実施 報告書・論文への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究FABRICの監査実施 参加施設(3施設)への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究J-MACSの監査実施 参加施設(3施設)への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究ABROADの監査実施 研究事務局及び参加施設(3施設)への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究PCIレジストリ(第一三共)の監査実施 参加施設(3施設)への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究MEM-DS(第一三共)の監査実施 参加施設(1施設2回)への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究カナグリフロジン(田辺三菱)の監査実施 研究事務局及び参加施設(1施設)への監査を実施 —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p> <p>臨床研究POTENTの監査実施 参加施設への監査を実施(平成30年3月までに5施設) —担 当:濱田、三井、富沢、三井田</p>

第17期(平成28年10月1日～平成29年9月30日) 事業計画

部 門	支 援 事 業	活 動 内 容
JMCA支援部 PM:池之上美穂	NPO JMCA (NPO日本メディカルライター協会)	<p>JMCA事務局の業務を継続して受託する予定。</p> <p>・年間計画に基づき、セミナー実施のための準備と当日運営の予定。総会・講演会(春)、シンポジウム(秋)、メディカルライティング基礎講座(2日連続で1回)、メディカルライティング上級講座、PubMed実践セミナー(初級コースを1回)、講師候補者の状況が許せばアドバンストコースも別に1回)、臨床研究セミナー、JMCAサロン(少人数で行うワークショップ形式の学習会)等を例年通り開催する見込み。17期の計画のうち、10/19にはセミナー「一医学論文の作成に役立つソフトウェアの使い方」を開催した。</p> <p>・年間計画以外に、シュプリンガー・ジャパン(株)シュプリンガー・ヘルスケアとセミナー「Practice and case studies in Japan and US」を共催、小児アレルギー学会向け内部学習会にプログラムを提供の予定。なお、事務局スタッフや運営補助の人員確保の問題により、計画が変更される可能性がある。</p> <p>・他に、引き続き賛助(企業・団体)会員を中心とした会員からの依頼に柔軟に対応する。企業向けのインハウスセミナーの開催も、収益事業として継続する見込み。</p> <p>・通常業務としては、会員(個人と企業・団体)の情報管理、ウェブサイトでの各種情報提供、会員向けのメールでの情報発信や会員専用ページの維持、閲覧会員(求人・求職者情報の利用に限定した会員)の入会対応や情報公開の手続き、顔写真付IDカードの発行(主な目的は、海</p>
日本臨床試験学会 支援部 PM: 松浦千恵子	臨床試験学会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第8回学術集会総会開催(大阪2017/1/27.28) 「多様化する医療に臨床研究は対応できるのか」 会長;山本晴子 2. 理事会開催(年2回) 3. 運営委員会開催(年3～4回) 4. 各種委員会の開催(年12～15回) 5. 学会誌発刊(年2回、会員への配達) 6. GCP認定試験の実施(パスポート2回、エキスパート1回) 7. がん臨床研究専門職認定試験(29年3月予定) 8. GCPセミナー、教育セミナー開催(年15, 6回程度) 9. 学会編集の図書及びポケット資料集製作委員会編集の図書等の販売
きぼうときずな PM: 塚原幹子		<p>東日本大震災被災住民医療支援プロジェクト 福島県内自治体(いわき市・富岡町)へ医療支援車を使った継続的医療支援 NPO直接雇用保健師・看護師派遣、聖路加国際大学関係保健師・看護師による現地支援活動 被災住民の心のケア、住民ニーズの把握と行政への提供、放射被ばくに対する情報提供 2016年4月～2017年3月 復興庁事業「心の復興」で、心と体の栄養復興プロジェクトを企画運営。学生による被災住民との心の交流を軸に、健康支援活動を実施。 2016年4月～ いわき市よりがん検診奨励業務を受託、コールセンターより再検査未受診者へ個別連絡業務実施。 2016年1月～ 基礎自治体で特定健診・保健指導データを活用するためのシステム開発に関する業務 担当:大橋 石井 相場 塚原 赤坂 石黒 梅原 鬼丸 川島</p>
がん臨床試験基盤整備事業		<p>厚生労働省が推進する「がん臨床試験基盤整備事業」に継続参画</p> <p>・「がん臨床試験基盤整備事業」・各種がん治療の進歩に繋がる集学的治療開発のための研究者主導の臨床試験を推進し、生物統計家、データマネージャーを充実させ、人材育成を行うとともに、研究者主導の臨床試験グループ中央機構の基盤整備・強化を図ることを目的とした国の財政的支援事業</p>